

第38期 中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日



株主のみなさまへ

株主の皆様方には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、第38期の中間報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

食品業界におきましては、度重なる産地や賞味期限の偽装問題により、消費者の「食の安全・安心」に対する意識がより一層高まり、さらに、雇用・所得環境の悪化による消費者の生活防衛意識・節約志向が強まったことで個人消費が冷え込み、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、主原料の仕入体制の見直しや、人員の最適化による製造体制の見直し、また6S活動の推進による無駄の排除や業務の効率化等、コスト削減を図ってまいりました。

さらに、卵殻のリサイクルを推進することにより、環境への配慮と廃棄物の削減に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は前年同期に比べて大幅に好転いたしました。

今後につきましては、「食の安全・安心」がこれまで以上に求められる中で、当社は安全・安心な製品の安定供給責任を果たし、お取引先との信頼関係を強化してまいります。

なお、平成21年11月2日に、業務用粉体調味料や顆粒調味料等を製造している「日本化工食品株式会社」の全株式を取得し、当社のグループ会社といたしました。今後、液卵に次ぐ第2の柱に育て、「イフジグループ」としてますます発展するよう努力してまいります。

株主の皆様方におかれましても、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長 藤井徳夫



営業の概況と今後の施策

○業績の概況

当第2四半期累計期間における営業の概況といたしましては、消費の冷え込みにより販売数量は、前年同四半期に比べ5.8%減少しました。売上高につきましては、鶏卵相場（東京M基準値）の平均（4～9月）が前年同期間に比べ15.2%（約30円）低く推移したことから、液卵売上高は3,948百万円（前年同期比14.2%減）となりました。また、加工品売上高は217百万円（前年同期比17.4%減）、その他売上高は176百万円（前年同期比16.4%減）となりました。この結果、合計売上高は4,342百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

損益面につきましては、主原料の仕入体制の見直しを行い原価低減に努め、また、製造体制の見直しなど人員の最適化を図り人件費等のコスト低減を図りました。また、原油価格が昨年と比べ低く推移したことによりガス・重油等の水道光熱費が減少しました。この結果、営業利益が416百万円（前年同四半期2百万円）、経常利益が411百万円（前年同四半期△4百万円）、四半期純利益が220百万円（前年同四半期△16百万円）となりました。

○今後の施策

当社におきましては、主に以下の施策を推進し、社員一丸となって収益力の強化及び企業価値の向上を継続してまいります。

1. 販売施策においては、お客様が求める品質の商品を、安定供給することを使命とし、適正価格でご提供できるように、配送ルートの見直し等合理化に努めてまいります。また、研究開発室と連携して高付加価値、高品質の液卵を開発し、お客様へ提案していくことで、更なる拡販に努めてまいります。
2. 購買施策においては、国内での鳥インフルエンザ再発懸念や飼料価格変動及び養鶏農家の寡占化が進むなど、購買環境は大変厳しくなると予想されます。このような状況を踏まえ、需要と供給のアンバランスを調整する需給調整を柱とする「購買の基本」に沿った購買体制を再認識し、仕入先の更なる拡大や原料定期仕入比率の向上、適切な備蓄量の確保を行い、当社が経営の第一目標としているお客様への安定供給責任を果たしてまいります。
3. 製造施策においては、食品メーカーとして品質を第一とし、お客様へより安全・安心な製品を提供すべく努力してまいります。また、品質保証体制の継続的な改善を図るため、作業手順書・マニュアルの整備・製造会議・安全衛生委員会を充実させ、従業員の衛生意識の向上、食品衛生法関連の法令並びに規制を遵守させるための教育に力を入れてまいります。また、6Sを徹底し、清潔な作業環境を実現してまいります。

事業の内容

■主要な事業内容

当社は鶏卵をあらかじめ割卵し、「液卵」「凍結卵」へ製造加工し、主にパンメーカーや菓子メーカー、惣菜メーカー等に販売しております。また、茶碗蒸しベース、ゆで卵の製造販売等も行ってあります。

「液卵」…鶏卵から卵殻を除いたものであり、形状が液体であることから液卵と称されております。

■液卵の利便性（メリット）

- ①作業効率…割卵の手間が省け効率的・衛生的です。
- ②品質の安定性…バラツキが少なく製品の均質化が図れます。
- ③経済性…鶏卵相場による価格変動に伴って起こる原料費率の不安定さを抑えることができます。
- ④貯蔵性…凍結状態であれば1~2年の保管も可能です。
- ⑤作業環境…殻付卵に比べ容積が1/3程度なので、保管スペースが小さくて済みます。また、卵殻の発生がないため作業環境がよくなります。

■商品ラインアップ

■液卵・冷凍卵



■凍結卵ミニパック



■茶碗蒸しベース

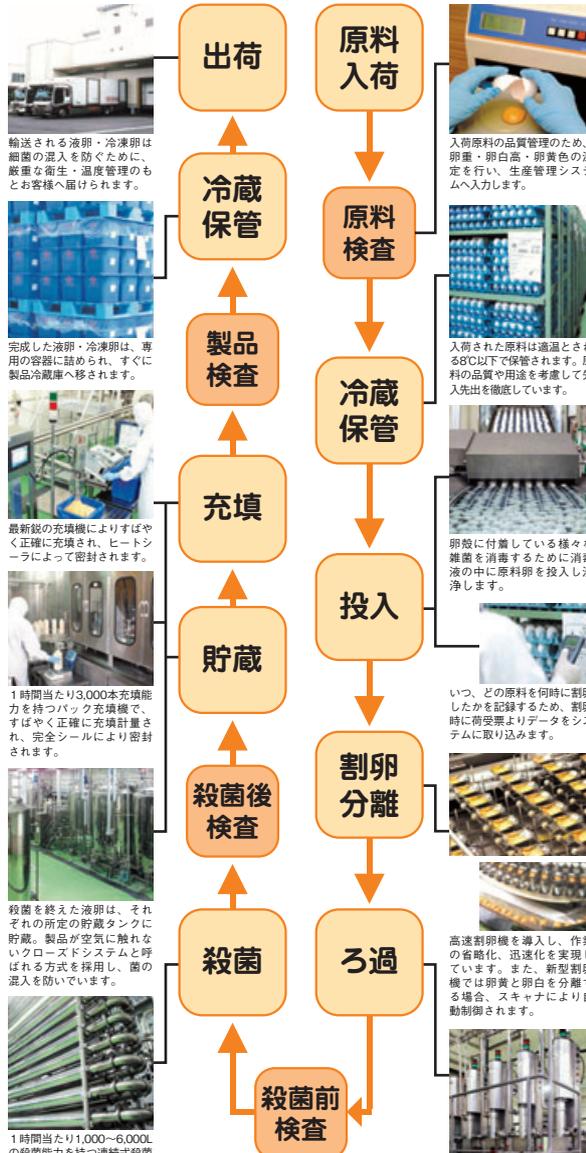


■液卵・冷凍卵の種類と用途

品 種	種 別	殺菌の有無	生・凍結	主 な 用 途
全卵	ホール	未殺菌	生	ケーキ、シュークリーム、パン、洋菓子、和菓子
	全卵	殺菌・未殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、玉子焼、玉子とうふ、茶碗蒸し
	加糖全卵 調整全卵	殺菌	生・凍結	ケーキ、洋菓子 パン、ビスケット、クッキー
卵黄	卵黄	殺菌・未殺菌	生	洋菓子、和菓子
	加糖卵黄	殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子
	加塩卵黄	殺菌	凍結	マヨネーズ
卵白	卵白	殺菌・未殺菌	生・凍結	練製品、洋菓子、和菓子
	製菓用卵白	未殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子

液卵の生産工程

■液卵・冷凍卵の生産工程（入荷から出荷まで）



原料入荷



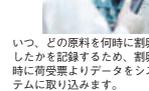
原料検査



冷蔵保管



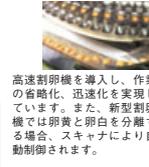
投入



割卵分離



ろ過



殺菌前検査



殺菌

殺菌後検査

貯蔵

充填

製品検査

冷蔵保管

出荷

安全・安心の取り組み

■より精緻な品質管理体制を確立

近年、「食の安全・安心」への関心が高まるなか、当社は、確かな技術で安全・安心な製品の安定供給に努めております。それに伴い、品質管理のさらなる充実を目指して製造工程における危害分析を行い、重要管理点を設け常にモニタリングすることで、より安全で衛生的な液卵・凍結卵を提供できる体制を確立。また、品質管理の基本である検査精度を確実にするために、第三者機関による外部精度管理にも努めています。さらに、安全衛生面の社員教育も徹底しています。



■24時間365日、徹底した温度管理体制を構築

液卵・凍結卵などの原料となる鶏卵は、入荷後すぐに5℃以下の冷蔵庫に保管。その冷蔵庫には温度監視センサーが取り付けられ、24時間体制で監視されています。割卵後の液卵は、殺菌機により適正な温度で殺菌。その殺菌機には六打点式記録計が取り付けられ、常に殺菌温度は監視されています。殺菌後の液卵は、水蓄熱方式で作られた0℃の冷却水により、急速に3℃まで冷却され貯蔵。充填後すぐに製品専用冷蔵庫に保管され、温度記録計を搭載した冷蔵車でお客様までお届けしています。



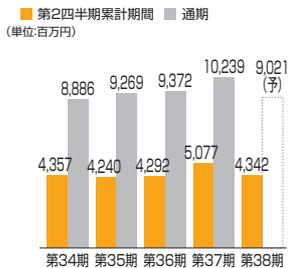
■安心の創造。この挑戦に終わりはありません

当社では、安全で高品質の液卵・凍結卵を製造するために、HACCPの考え方に基づいてゾーニングを明確化。さらに、生産設備の配置を考慮し、汚染区と清潔区に区分して衛生管理を行っております。また、設備の稼働状況や工程管理をシステム化し、チェック体制を強化することにより、効率的に保守メンテナンスを行っております。このように、お客様へより安全で安心な製品を提供するため、積極的に最新鋭設備を導入し、衛生的・効率的に生産できる工場を目指しています。

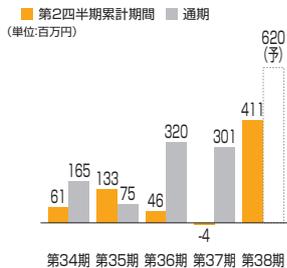


決算ハイライト

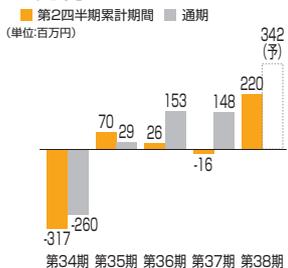
売上高



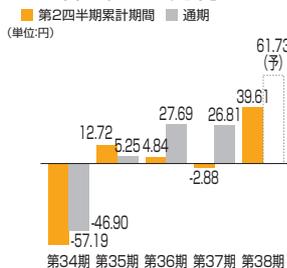
経常利益



純利益



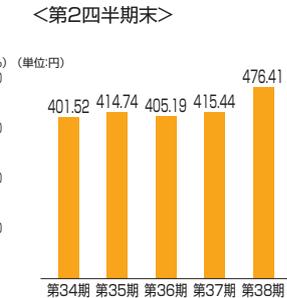
一株当たり純利益



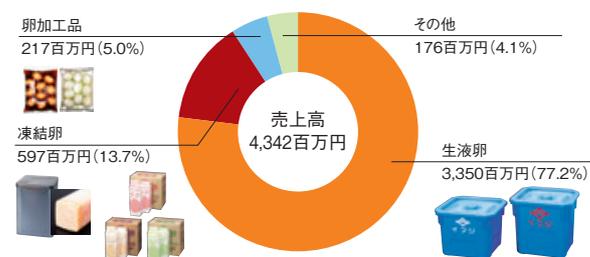
純資産・総資産



一株当たり純資産



売上高構成比<第2四半期末>



財務諸表

貸借対照表 (要約)

(単位：千円)

科目	前第2四半期末 (平成20年9月30日現在)	当第2四半期末 (平成21年9月30日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)
【資産の部】			
流動資産	2,989,065	2,884,230	2,737,499
固定資産	4,099,288	3,837,551	3,940,919
有形固定資産	3,710,218	3,505,105	3,598,182
無形固定資産	14,066	9,668	10,796
投資その他の資産	375,003	322,778	331,939
資産合計	7,088,354	6,721,782	6,678,418
【負債の部】			
流動負債	2,754,673	2,279,823	2,275,147
固定負債	2,025,384	1,794,888	1,933,468
負債合計	4,780,058	4,074,712	4,208,615
【純資産の部】			
株主資本	2,323,368	2,663,987	2,488,359
資本金	455,850	455,850	455,850
資本剰余金	366,322	366,307	366,322
利益剰余金	1,505,502	1,846,122	1,670,495
自己株式	△4,305	△4,291	△4,308
評価・換算差額等	△15,071	△16,917	△18,555
その他有価証券評価差額金	△15,071	△16,917	△18,555
純資産合計	2,308,296	2,647,070	2,469,803
負債純資産合計	7,088,354	6,721,782	6,678,418

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：千円)

科目	前第2四半期末 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)	当第2四半期末 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)	前期末 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△549,588	603,893	△129,920
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,972	△47	△35,575
財務活動によるキャッシュ・フロー	668,903	△461,352	195,447
現金及び現金同等物の増減額	93,342	142,494	29,951
現金及び現金同等物の期首残高	325,691	355,642	325,691
現金及び現金同等物の第2四半期末(期末)残高	419,033	498,136	355,642

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

比較損益計算書 (要約)

(単位：千円)

科目	前第2四半期末累計期間 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)	当第2四半期末累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)	前期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)
売上高	5,077,873	4,342,137	10,239,345
売上原価	4,399,574	3,246,244	8,551,049
売上総利益	678,299	1,095,893	1,688,296
販売費及び一般管理費	675,326	679,632	1,366,633
営業利益	2,972	416,261	321,662
営業外収益	11,053	14,993	22,968
営業外費用	18,147	20,118	42,701
経常利益又は経常損失(△)	△4,120	411,135	301,929
特別利益	—	—	5,575
特別損失	1,174	2,557	2,794
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△5,295	408,578	304,710
法人税、住民税及び事業税	11,518	214,361	148,431
法人税等調整額	△800	△25,860	7,300
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,014	220,077	148,978

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

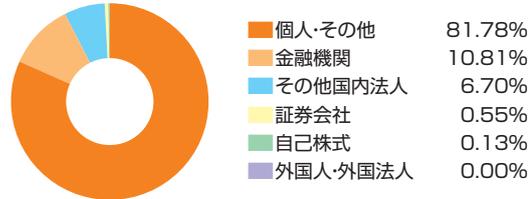
POINT

対前年同期比

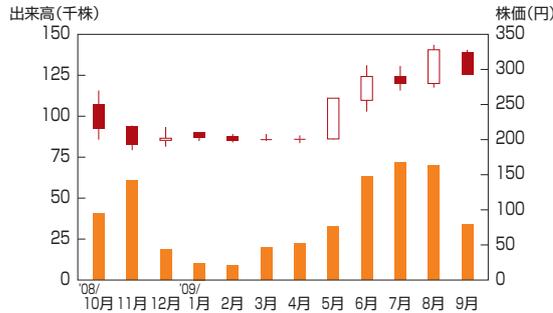
- 売上高 △735百万円…前期比14.5%の減少。鶏卵相場(東京M基準値)が前年同期間(4～9月)比15%下落したことで、景気低迷に伴う消費減退の影響が大きい。
- 売上原価 △1,153百万円…材料費 △1,123百万円…上述の通り、鶏卵相場が低く推移したことに加え、材料仕入れ体制を見直したことによる。
- ・水道光熱費 △35百万円…原油価格が低く推移したことで、重油及びガス代が減少。
- ・減価償却費 △15百万円
- ・環境衛生費 △7百万円…卵殻のリサイクル化により減少。
- 販売費及び一般管理費 +4百万円
- ・保管料 +19百万円…製品在庫等増加により増加。

株式の状況 (平成21年9月30日現在)

■発行可能株式総数	16,792,000株
■発行済株式の総数	5,563,580株
■株主数	2,484名
■所有者別分布状況	



■株価及び株式出来高の推移



株主の皆さまの声を聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2924

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイトにある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。ご回答いただいた方の中から抽選で再贈(図書カード500円)を差し上げさせていただきます。

※本アンケートは、株式会社エー・ツー・メディアの提供する「e-株主サーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エー・ツー・メディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
「e-株主サーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

会社概要 (平成21年9月30日現在)

商号	イフジ産業株式会社 (英訳名: Ifuji Sangyo Co., Ltd.)
設立年月日	昭和47年10月3日
資本金	4億5,585万円
本社所在地	〒811-2312 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 TEL 092-938-4561 (代)
従業員数	89名(臨時従業員は除く。)
事業部	本社 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 福岡事業部 TEL 092-938-4561 関西事業部 京都府綴喜郡井手町大字井手小字合敷3-1 TEL 0774-99-4801 名古屋事業部 愛知県安城市二本木新町1-8-7 TEL 0566-72-1611 関東事業部 茨城県水戸市酒門町4476-17 TEL 029-248-2311
グループ会社	日本化工食品株式会社 (平成21年11月2日現在) 東京都千代田区神田北乗物町1番地 TEL 03-3252-5979

役員	代表取締役社長 藤井 徳夫
	専務取締役 藤井 宗徳
	常務取締役 仁田坂 功
	常務取締役 池田 賢次郎
	取締役 坂本 勇
	常勤監査役 高宮 哲郎
	監査役 具島 輝幸
	監査役 酒井 善浩

(平成21年11月2日現在)

◆ホームページのご案内

決算の詳しい情報は当社ホームページでご覧いただけます。またイフジ産業がわかる動画も配信しています。ぜひご覧ください



動画TOP画面

<http://www.ifuji.co.jp>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	
定時株主総会 期末配当	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告掲載方法	日本経済新聞

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

株主ご優待について

贈呈基準	毎年3月31日現在の株主に対し、全国たまたご商業協同組合が発行する「たまたごギフト券」を年1回、以下の基準により贈呈いたします。
	株式数100株以上1,000株未満 一律500円(100円券×5枚)
	株式数1,000株以上 一律2,000円(100円券×20枚)
利用方法	全国の主な百貨店及びスーパー等で卵の購入の際に利用できます。
有効期限	発行日から5年
取扱店舗	全国の主な百貨店及びスーパー等(詳しくは同封する書類に記載)

イフジ産業株式会社

福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 〒811-2312
TEL 092-938-4561 (代) FAX 092-938-5537
URL <http://www.ifuji.co.jp>